

とみしのさと

三次市立吉舎小学校だより

発行日 令和8年2月16日(月)
文責 校長 森元 誠

学校教育目標 「自ら学び、考え、自立した行動ができる『きさ』の子どもの育成」
～楽しく（主体的な学び・深い学び）学び、人を大切にする児童の育成～

体力づくり(大縄跳び大会に向けて)

2月5日木曜日に計画していた「全校大縄跳び大会」は、学級閉鎖により中止となりましたが、児童は自分たちが決めた目標に向けて休憩時間などに練習をしています。この写真は1年生の様子です。どの学年も「3分間で何回跳ぶことができるか。」に挑戦しています。1年生は3分間で90回という目標回数を大きく上回り、131回も跳ぶことが出来ました。みんなで協力して目標を達成したことを心から喜んでいました。

高学年には、230回という記録を出した学年もありました。寒さに負けない体力をつけていきます。



2月3日 鬼退治



2月3日火曜日の節分の日には、吉舎小学校の各教室に鬼がやってきました。鬼は順番に教室をまわり、児童は自分が退治したい鬼(怠け鬼など)を書いた紙を丸めて豆にして、鬼を退治しました。

児童は、「今日は、鬼が教室に来るから怖いな。」「鬼退治をするから楽しみ。」と、朝から自分たちの教室に鬼がやってくるのをワクワクしながら待っていました。

1年教室から順番に鬼が教室を回り、児童は節分の鬼退治を楽しみました。児童が退治したい鬼は、どんな鬼だったのでしょうか。

避難訓練(不審者対応等)

2月10日火曜日に、三次警察署の方に協力いただき、不審者が校舎内に侵入した場合を想定した避難訓練を行いました。児童は、落ち着いて先生の指示を聞き、校内放送の内容を聞いて、冷静に体育館に避難しました。

最近、三次市内で登下校中の児童に「シール、いらない?」と大人が声をかけるという事案が発生しています。実際に声をかけられたらどう対応するか、指導していただきました。

改めてご家庭で、「いかのおすし」の合言葉(ついていかない、乗らない、大声をだす、すぐ逃げる、大人の人に知らせる)について、一緒にご確認ください。学校においても、児童が安全に避難できるように児童の命を守る避難訓練を続けていきます。



八幡小学校との交流

2月4日水曜日、八幡小学校の全校児童が、1日吉舎小学校で過ごして交流学習をしました。八幡地域・徳市地域の児童は、4月から登下校に運行するスクールバスに乗って登下校しました。「今日は、ぼくが低学年のバスの登下校の班長です。がんばります。」と頼もしい2年生の児童もいました。

写真は第5学年の交流の様子です。森のおもちゃ協会の方に協力いただき、木工事に挑戦しました。ひとりひとり手作りの木の車を作成し、左端の竹のコースを走らせて、速さやデザインを競います。楽しい交流を通して仲間と楽しむことが出来ました。



第4学年は学級閉鎖で交流できなかったのですが、八幡小学校の第4学年は吉舎小で1日過ごし、第3学年との合同体育をしていました。

この日の昼休憩には令和8年度前期児童会役員選挙の立候補者受付があり、6人の5年生が届出をしました。新しい学校のリーダーとして、立候補者は準備を進めています。

児童会役員選挙に向けて



2月6日金曜日の朝会で、吉舎小学校令和8年度前期児童会役員選挙に立候補した児童の紹介がありました。八幡小学校の児童も立候補し、リモートで自分の名前や公約の紹介をしました。

2月16日月曜日、18日水曜日の朝会では、八幡小、吉舎小、それぞれの学校で立候補者が立ち合い演説会を行います。一人一人「自分から元気なあいさつをすることができる学校」などの公約を掲げ、立候補しています。



八幡小、吉舎小の児童は、立候補者の公約や取組を聞いて、「こんな吉舎小にしていきたい」と考えながら投票し、5人の児童会役員を選びます。

児童玄関前に、立候補者のポスターが掲示されていますので、2月20日の参観日には保護者の皆様もぜひご覧ください。



4年生総合的な学習の時間

4年生は総合的な学習の時間で、「吉舎っ子調査隊～自然がいっぱい！吉舎っていいところ」という単元で自然環境について学習しています。2月13日金曜日、4年生は国営備北丘陵公園に行き、講師の清水さんに案内していただいて冬の自然について学びました。

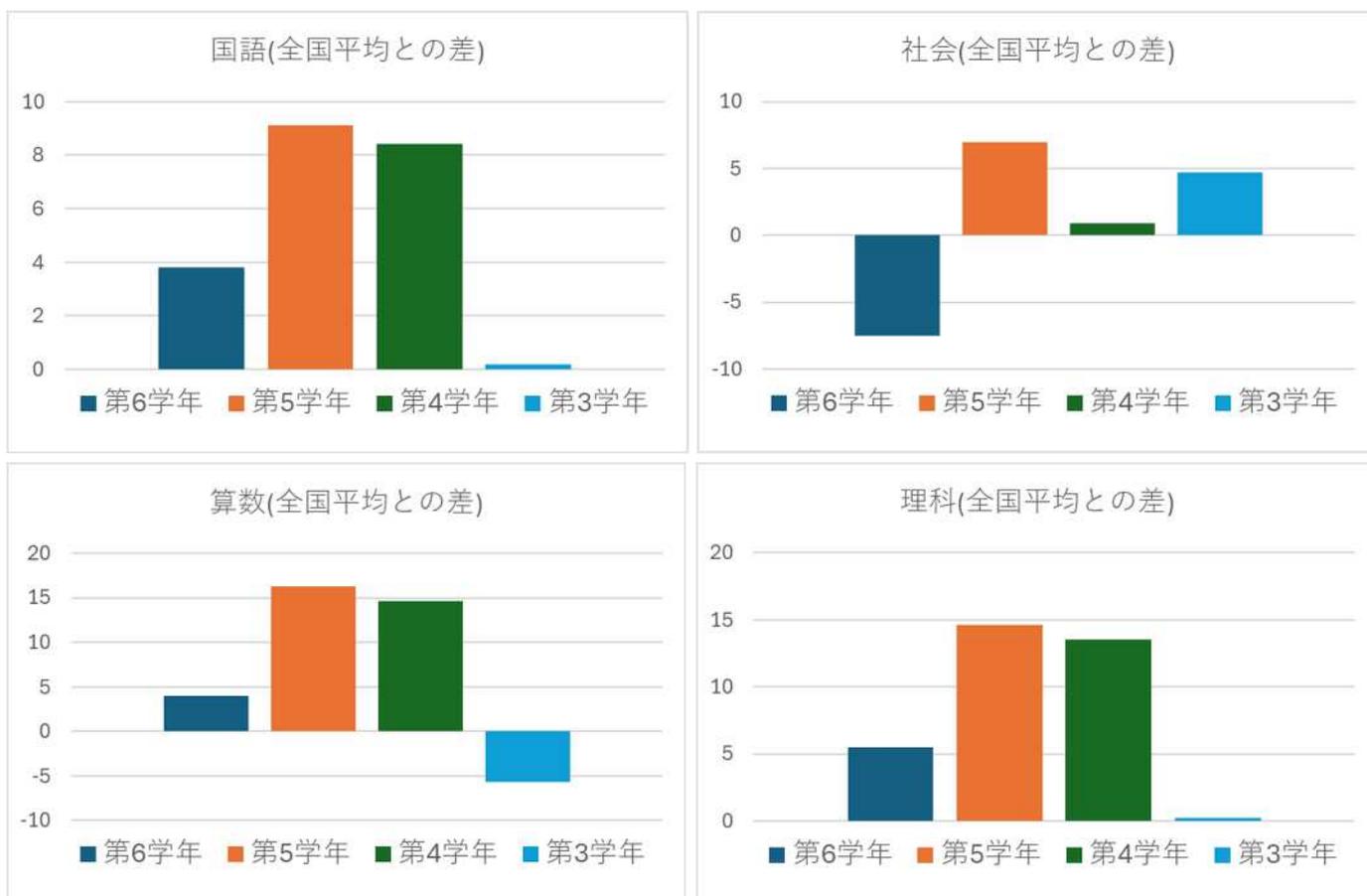
国兼池に渡ってきた冬鳥を双眼鏡で観察し、たくさんの野鳥を見つけました。幸い、少し暖かい日差しがあり、「寒かったけれど、マガモやたくさんの鳥を観察することが出来ました。」と児童は言っていました。



三次市学力到達度検査の結果について

令和8年1月13日火曜日、14日水曜日に、三次市内児童・生徒の基礎・基本の定着状況を把握し、指導内容・指導方法の改善・充実を図り、学力を向上させるため、三次市学力到達度検査が3年生以上で実施されました。結果の概要は、次のグラフのとおりです。グラフでは、各学年の平均正答率と全国平均正答率の差を、教科ごとに表しています。

【児童アンケートの結果】



全国平均正答率よりも下回っているのは、6年社会、3年算数です。他の教科は全国平均正答率を上回っていました。

一つ一つの問題を分析してみると、特に、書かれている文章を正確に読み取り、内容を要約したり引用したりすることや、読み取った内容を使って、指示されたとおりに書き表したりすることに学力課題があることがわかりました。これは、国語、社会、算数、理科共通した課題でした。

一般社会では、日々、初めて読む文章を正確に理解し、相手や目的、必要な場面に応じて、情報を選択し書き表したり話したりして表現する力が求められます。そのために、学校では1年生から国語の時間を中心に、内容を正確に読むこと、自分の考えを目的に応じて書くことなどを段階的に指導しています。今後、吉舎小学校では、今回の結果を踏まえて、国語において文章を正確に読み、表現する力を育成するための授業研究を進め、児童に生きる力をつけていきたいと考えています。

ご家庭でも、正確に文章を読み取る力をつけるため、例えば、同じ本を保護者と一緒に読むなど、読書習慣の習得にご協力いただければと思います。読むことはすべての学習の基本の力です。

学力到達度検査の個別の結果は、3学期の成績とともにお返しします。児童に生きる力をはぐくむため、今回の結果を生かして学習指導の改善に取り組みます。

第3回学校運営協議がありました

吉舎中学校区は、コミュニティ・スクールを導入して2年目となりました。コミュニティ・スクールは、学校運営協議会を中学校区の単位で設置し、学校と保護者、地域のみなさんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの成長を支え、地域とともにある学校づくりを推進していく取組です。

2月13日には、第3回の学校運営協議会が吉舎中学校で行われ、吉舎小、八幡小、吉舎中が今年度の取組の成果、課題と改善策を学校運営委員の皆さんにお伝えし、評価していただきました。

また、「コミュニティ・スクールと新コア・カリキュラムの推進」について熟議をして、地域や保護者の皆さんから意見をいただきました。「新コア・カリキュラム」とは、3つの体験（0→1体験、越境体験、地域／先端体験）を軸とした探究的な学習の過程を設定した吉舎小、中学校の独自の教育課程のことをいいます。0→1体験は、新しい価値を作り出す体験、越境体験とは、いつもの環境から出て新しい環境で話したり体験したりして新しい価値に気付く体験、地域／先端体験とは、地域にどっぷりつかる体験などを表していて、三次市内のどの小中学校でも令和8年度から取り組む教育内容です。学校運営委員委のみなさんから「安田のユキワリイチゲのことも知ってほしい。」「小学校中学年で福祉体験をぜひ考えてほしい。」「吉舎の食についてもっと触れてほしい」「地域運動会の復活を」などのご意見をたくさんいただきました。児童の豊かな学びの実現のため、今後ともご意見、ご協力よろしくお願いたします。

2月から3月までの主な行事予定

2月20日（金）授業参観日・学級懇談会

4年PTC、6年PTC

2月21日（土）みよし教育フェスタ

三次市民ホールきりり13：00-

2月23日（月）天皇誕生日

2月24日（火）児童会役員選挙

2月27日（金）児童会役員交代式

クラブ活動体験(3年生)

3年生以上の一斉下校 15：40

3月 4日（水）PTA役員会

3月 6日（金）6年生を送る会

吉舎中学校 卒業式

3月12日（木）卒業式リハーサル

3月19日（木）卒業証書授与式

3月25日（水）修了式

3月26日（木）学年末休業日開始(春休み開始)

4月 8日（水）始業式、入学式

(4月7日までが春休みです)

※ 読み聞かせ朝会（りんくさん）

…毎週水曜日

※ スクールカウンセラー来校日

2月18日午後

『体罰、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント・人権等』に関する相談窓口

性暴力、体罰、いじめ、セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント相談窓口

担当者 森元 誠(校長)、小畑隆夫(教頭)、尾田達哉(生徒指導主事)、栄佑子(保健主事・養護教諭)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する相談窓口

担当者 森元 誠(校長)、小畑隆夫(教頭)、尾田達哉(生徒指導主事)、栄佑子(保健主事・養護教諭)

川崎良香(特別支援教育コーディネーター)

連絡先 電話(0824)43-2580 三次市立吉舎小学校

☆気になることがありましたら、いつでもご相談ください。

○スクールカウンセラーとの面談予約も受け付けています。

○なお、三次市教育委員会、広島県教育委員会等にも相談窓口があります。